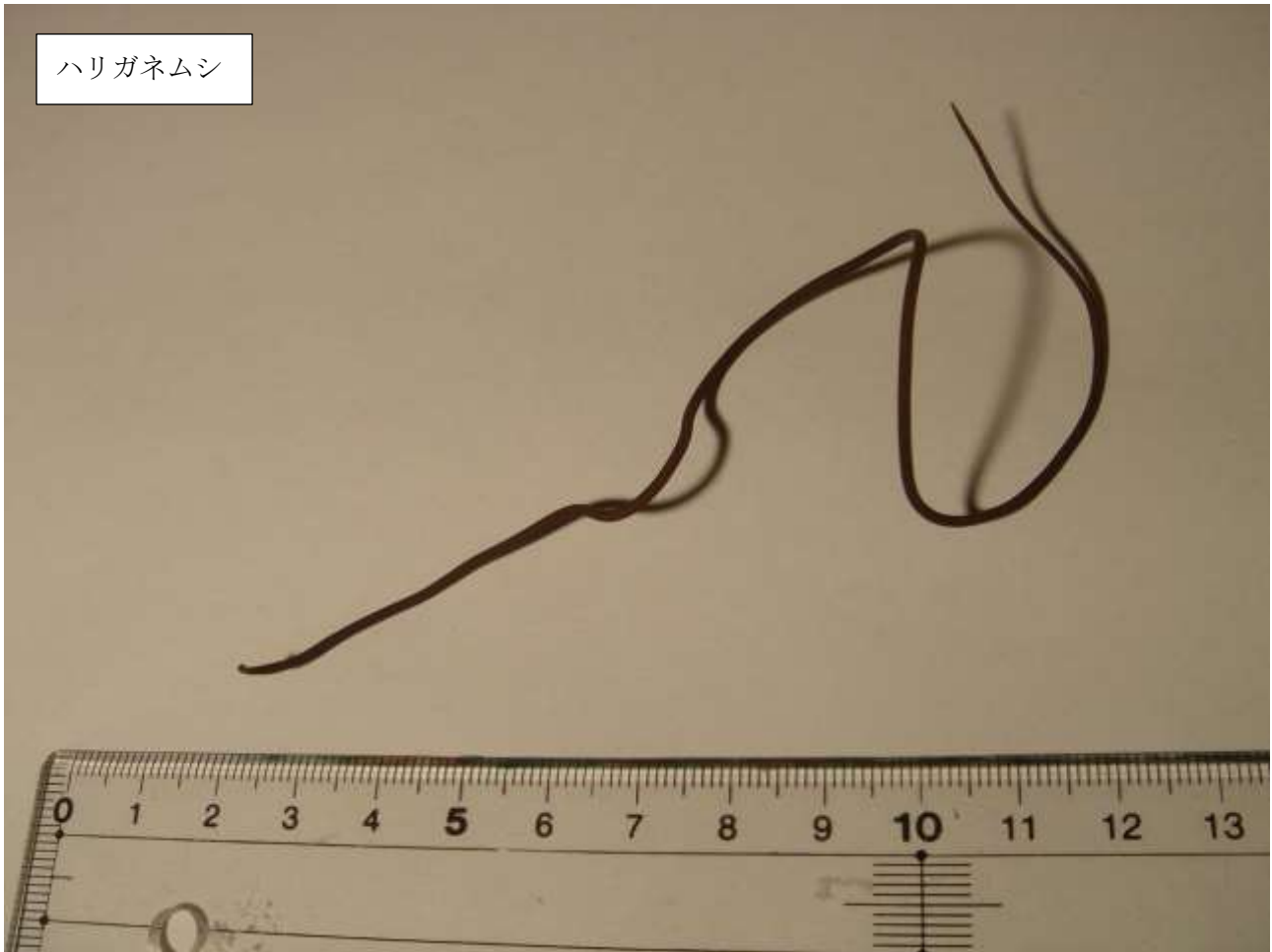


花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険4

国立市立国立第七小学校

平成28年10月7日 NO.54 (354)

ハリガネムシ



オー君 「ぎよぎよ、ぎよ！これはなんだ。」

花ちゃん 「^{なに}何かのひもみたいですね。」

モンタ博士「^{ふたり}二人とも、^{はじ}初めて見るものだと^{おも}思うけどね。これはちょっとかわった^い生き物^{もの}なんだ。」

オー君 「これが^い生き物？それじゃ、^{うご}動くの？」

モンタ博士「そうだよ^{うご}動くよ。しばらく^み見ていてごらん。」

花ちゃん 「うわあー！^{うご}動いた。きゃー！^き気持ちわるい。」

モンタ博士「そうだね。あまり^き気持ちいいものではないかもね。しかし、じっくりと^み見ていてごらん。^{すこ}少しはかわいく^み見えるかもしれないよ・・・でも・・・
やっぱり^{ちきゅうがいせいめいたい}地球外生命体っぽいかな・・・。」

オー君 「モンタ博士、この虫はいったいなんという虫ですか。」

モンタ博士 「よく聞いてくれたね。この虫は、一本のはり金
みたいだろう。それで、この虫は『ハリガネムシ』と
いうんだよ。虫といっても、昆虫ではないんだ。」

花ちゃん 「モンタ博士、なんだかやせたミミズみたいですね。」

モンタ博士 「やせたミミズとはぴったりだね。でも、さわってみる
とちょっとちがうよ。花ちゃん、さわってごらん。」

花ちゃん 「いえ！私は、えんりよしておきます。」

オー君 「それじゃ、ぼくがさわるよ……。あれ、かたいよ。」

モンタ博士 「そうだろう。ミミズのように前に進んだりしないだろう。
ただ、ウネウネと動くだけだね。」

花ちゃん 「ところで、このへんな虫、どこにいるんですか。」

モンタ博士 「カマキリの体の中において、ずうっと、
寄生しているのさ。」

花ちゃん 「え！カマキリの中……。寄生……。？なんですか？」

モンタ博士 「寄生とはね、生き物がほかの生き物から栄養をもらって生きていることさ。
カマキリのおなかの中において、秋になると出てくるんだよ。」

オー君 「おなかから出てきてからどうすんですか。」

モンタ博士 「冬は水の中ですごして、春になるとたまごを生むのさ。」

花ちゃん 「そのあと、どうなるんですか。」

モンタ博士 「たまごからかえった幼虫は、水生昆虫に食べられて。そのおなかの中で生き
続けるのさ。そして、その水生昆虫を、今度はカマキリが食べて、ハリガネ
ムシはカマキリのおなかの中で秋まで、生き続けるというわけなんだよ。」

オー君 「ふーん。生き物って、生命を次から次へと伝えていくんですね。」

モンタ博士 「そのとおりだね。このハリガネムシはどうなるんだろう。みんなで飼ってみ
ようか。そうだ。校長室前に置いとくから、みんなで見においで。」



ハリガネムシおもしろ実験・・・針金のようなこの変な虫の両端をつかんで、ちょうちよ結びにしたら、どうなるのでしょうか。実際にやってみた様子を動画で撮ろうと思います。乞うご期待下さい。